

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
【発行日】 令和 4 年 9 月 7 日(2022.9.7)

【国際公開番号】 WO2020/058372
【公表番号】 特表 2022-511337(P2022-511337A)
【公表日】 令和 4 年 1 月 31 日(2022.1.31)
【年通号数】 公開公報(特許)2022-017
【出願番号】 特願 2021-516357(P2021-516357)
【国際特許分類】

10

A 6 1 K 39/395(2006.01)
A 6 1 P 35/00(2006.01)
A 6 1 P 17/00(2006.01)
A 6 1 K 45/00(2006.01)
A 6 1 P 43/00(2006.01)
A 6 1 K 47/68(2017.01)
C 0 7 K 16/28(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 T
A 6 1 P 35/00 Z N A
A 6 1 K 39/395 E
A 6 1 P 17/00
A 6 1 K 45/00
A 6 1 P 43/00 1 2 1
A 6 1 K 47/68
C 0 7 K 16/28

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 4 年 8 月 30 日(2022.8.30)
【手続補正 1】

30

【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更

【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の癌の治療に使用するための CD163 への結合アフィニティをもつ抗体。

【請求項 2】

前記使用は、CD163 への結合アフィニティをもつ抗体を治療的有效量で患者に投与して、これによって CD163+腫瘍関連マクロファージの集団を枯渇させ、腫瘍浸潤性 CD8+T 細胞の量を増加させることを含む、請求項 1 に記載の使用のための抗体。

40

【請求項 3】

癌が黒色腫である、請求項 1 または 2 に記載の使用のための抗体。

【請求項 4】

癌が免疫チェックポイント治療に抵抗性である、請求書 1 ～ 3 の何れか一項に記載の使用のための抗体。

【請求項 5】

使用が免疫チェックポイント阻害剤の有効性／効力を増加するためである、請求項 1 ～ 4 の何れか一項に記載の使用のための抗体。

【請求項 6】

50

抗体がCD163の細胞外ドメインに結合する、請求項1～5の何れか一項に記載の使用のための抗体。

【請求項7】

癌の治療に使用するための、少なくとも1つの免疫チェックポイント阻害剤とCD163への結合アフィニティをもつ抗体との治療的に有効な組合せを含む組合せ。

【請求項8】

抗体が被験者の腫瘍中のCD163+ TAMの枯渇に至らしめる、請求項7に記載の使用のための組合せ。

【請求項9】

免疫チェックポイント阻害剤がPD-1 アンタゴニスト、PD-L1 アンタゴニスト、PD-L2 アンタゴニスト、CTLA-4 アンタゴニスト、VISTA アンタゴニスト、TIM-3 アンタゴニスト、LAG-3 アンタゴニスト、IDO アンタゴニスト、KIR2D アンタゴニスト、A2AR アンタゴニスト、B7-H3 アンタゴニスト、B7-H4 アンタゴニスト、および BTLA アンタゴニストからなる群から選択される、請求項7または8に記載の使用のための組合せ。

10

【請求項10】

癌が免疫チェックポイント治療に抵抗性である、請求項7～9の何れか一項に記載の使用のための組合せ。

【請求項11】

使用が免疫チェックポイント阻害剤の有効性／効力を増加させるためである、請求項7～10の何れか一項に記載の使用のための組合せ。

20

【請求項12】

抗体がCD163の細胞外ドメインに結合する、請求項7～11の何れか一項に記載の使用のための組合せ。

【請求項13】

抗体が抗体-依存性細胞-仲介性細胞毒性を仲介する、請求項7～12の何れか一項に記載の使用のための組合せ。

【請求項14】

抗体が抗体-医薬結合体である、請求項7～13の何れか一項に記載の使用のための組合せ。

30

【請求項15】

抗体が細胞毒性部分と結合されている、請求書14に記載の使用のための組合せ。

【請求項16】

癌が黒色腫である、請求項7～15の何れか一項に記載の使用のための組合せ。

40

50